

てらこし和洋の一般質問 (令和元年9月12日)

Q1 2020年東京オリンピック・パラリンピック

質問 ホストタウン登録予定は。

答え 登録は行わず、これまでの海外5カ国の都市と親善友好都市として交流を優先していく。

質問 2026年アジア大会が愛知県・名古屋市の共催で行われるが、キャンプ地として準備をせよ。

答え オリンピック合宿誘致の経験から、各種国際大会の合宿について、関係団体と連携していく。

Q2 白山頭首工の魚道に監視カメラの設置を

質問 今後の予定は。

答え 令和3年4月から水中カメラで録画したビデオ映像を七ヶ用水の白山管理センターや宮竹用水事務所などで見られるようにする。

Q3 多面的機能支払事業

質問 今年度の事業改正は。

答え 取り組む活動の増加や、農業者以外の団体構成員を拡大した場合の加算措置や、各種工事の事業費が原則200万円未満とされた。

質問 実施団体と新しく希望する実施団体の周知は。

答え 1月と2月に説明を行い、4月に新年度事業の改正点の資料を配布。未実施地区には制度の周知をする。

Q4 中山間地域等直接支払事業

質問 来年度の事業改正のポイントとメリットは。

答え 国から内容は、示されていないが、国の第三者委員会では、交付金をさかのぼって返還しなければならない措置の見直しや、農業者の事務負担の軽減などの制度変更の必要が示されているところで、農家の不安を払拭し、安心して制度に取り組むメリットがある。

質問 今後の対処は。

答え 事業改正が明らかにされ次第、説明を行う。

Q5 白山市の斎場整備は

質問 斎場基本調査の、その後の状況は。

答え 現在、敷地面積、建築費用、運営方法などについて検討している。

質問 整備の3パターンの絞り込みと場所の選定は。

答え 年度内に絞り込み方向性を示す。その後、斎場の在り方検討委員会を設置し、整備場所を決定したい。

質問 新斎場の敷地内に、有害鳥獣などの専用の火葬炉が必要では。

答え 現在、汚物炉で焼却処理を行っている。今後、利用数の推移を見守り、検討する。

Q6 市街化調整区域の住宅建築

質問 市街化調整区域内の集落で人家が隣接している白地の土地を、集落の同意があれば、集落外の人間も住宅建築が出来る施策は。

答え 市では、集落としての環境を維持し、新規の住居者呼び込む、「まちづくり開発制度」があり、現在まで、6集落が本制度を活用し、住宅が建築されている。

Q7 空き家対策

質問 今年度の空き家数と問題ありの空き家数は。空き家バンク登録の空き家の売却・賃貸数は。

答え 空き家数は928戸、うち問題ありの空き家は181戸。売却・賃貸された件数は、18件。

質問 空き家バンクの登録数や成約数が、伸びない要因と今後の対策は。

答え 空き家や敷地の相続が条件であり、名義変更がされていないため。市では、空き家の適切な管理の啓発をしているので、所有権の設定も含め、バンクへの登録につなげたい。空き家の所有者に対し、管理依頼の文書を送る際にパンフレットを同封し啓発を図っている。

Q8 国道360号線（飛騨地域～小松空港間）整備促進

質問 期成同盟会についての、市長の考えは。

答え 国道360号線は県境部に長大なトンネル整備の大きな課題がある。今般、名称を改め、加盟団体も、新たに能美市・川北町・高山市・下呂市を加えた8自治体と経済団体も参加し、官民一体の組織充実を図った。さらに、会長や会長代行に石川・岐阜県の衆議院議員が就任し政官民の体制が整い、今後の進展に期待をしている。

質問 経済効果は。

答え 両県の往来に約1時間の短縮が見込まれ、人・物の交流促進等、経済効果は大きい。さらに、関東圏や中京圏との移動時間の短縮から、物流の効率化による企業の生産性向上や広域観光、災害などの緊急時の道路ネットワークの構築等、役割は大きい。

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月～ 白山市議会議員
平成26年3月～27年3月 白山市議会議長（第10代）
平成29年2月 白山市議会議員当選（通算7期目）

現在の役職

- 議会での所属／総務企画常任委員、議会運営委員、議会の在り方検討特別委員、白山野々市広域事務組合議会議員、会派創設会代表
- その他の役職／白山市サッカー協会会長、白山市相模連盟会長、石川県フィンランド友好協会副会長、石川県サッカー振興議員連盟会員、白山市自衛隊募集相談員、クレイングラウンドゴルフクラブ会長、神奈川大学宮校会石川県支部常任幹事、錦丘高校同窓会代表幹事、元秋田大保存会石川県支部展覧会名誉会長

※詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。

白山市議会議員

てらこし和洋

白山市議会通信

2020年2月号



令和になり初の新年を迎え月日が経ちました、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

今年の冬は、過去に経験をした事の無い暖冬であります。今夏の私たちの生活条件の心配と自然現象による災害を危惧しながら、安心して安全に暮らせる安定した社会となるよう、注視して行きます。

今年度はオリンピックイヤーであります。国政の安定を望みながら、国外の経済情勢が国内に影響を及ぼさないよう望み、石川県に於いては、オリンピックの経済波及効果と北陸新幹線のさらなる経済効果において、県民の福祉のさらなる向上を求めたいと思います。

白山市も市政誕生16年目を迎え、成熟した自治体となって来ました。昨年、東洋経済新報社から「住みよさランキング2019」において全国第1位の評価を頂きました。また、宝島社から「住みたい田舎ベストランキング」では3年連続ランクインしました。しかしながら、全てに関して実感が湧かないと思います。実感を感じて頂けることが、議員の仕事の一つであると思います。

さらに昨年12月には日本ジオパークに再認定されました。そして、SDGs推進の選定やスマートウエルネスシティ首長研究会に県内自治体で

初めて加入など、全国的にも知名度が上がってきていると思います。さらなる認知度・知名度の向上に繋げて行きたいと思います。

今白山市の財政については、市税に関して平成25年度と平成30年度を比べると37億円の伸びを見ますが、一方、地方交付税は36億円の減額が見られます。市税が伸びると交付税は減らされるシステムであります。しかしながら税収の伸びは重要であります。

一方、歳出では、危惧されるのは、社会保障費と言われる扶助費であります。平成25年度と平成30年度をくらべると77億円から99億円と大幅に伸び、歳出の20%を示しています。

今後、さらに事業の取捨選択と優先順位など集中と選択により効率的・効果的な財政運営が必要であります。

私自身は軸足が市民であることを忘れずに、声なき声を大事にしながら、人間力を磨き、夢と希望と努力することが報われ、安心して暮らすことが出来るまちづくりの推進を図ってまいります。

今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願い申し上げます、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げますご挨拶といたします。



神戸市 海上自衛隊 阪神基地隊にて



潜水艦救難艦「ちはや」



自衛隊青野原駐屯地の昼食



兵庫県小野市 青野原駐屯地にて

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 **寺越 和洋** 後援会事務所
〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
- 携帯電話 090-7088-0000